

わかば通信

VOL.14

lemonbalm

社会福祉法人 能登福祉会

〒926-0014 石川県七尾市矢田町22号七株田12番地5

TEL.0767-53-8700(代表) FAX.0767-53-8715 URL:<http://www.homewakaba.com>

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8702 FAX.0767-53-8716

短期入所生活介護 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

居宅介護支援事業所 あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8703 FAX.0767-53-8718

訪問介護 ヘルパーステーション あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8704 FAX.0767-53-8718

七尾市在宅介護支援センター あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8713 FAX.0767-53-8717

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむイースト
TEL.0767-53-6690 FAX.0767-53-6691

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむウエスト
TEL.0767-54-0477 FAX.0767-54-0551

小規模多機能型居宅介護施設 あっとほーむコモド
TEL.0767-59-1290 FAX.0767-59-1291

「おくりびと」の原作『納棺夫日記』の作者

青木新門さんと七尾

小林 良子

人は生まれ、一生懸命に生きて死ぬ。その命の終焉が葬儀である。葬儀を描いた映画「おくりびと」が世界の映画祭でアカデミー賞を受賞した。その原作「納棺夫日記」の作者が青木新門さんである。

彼がその作品を書く直前までオークス七尾支店長として七尾に在任していたことを知る人は意外と少ない。

彼と会ったのは二十数年前である。知人の鷗浦さんから電話が入り「支社長が小林さんの文章を読んでお会いしたい」と言っています」と、車で迎

えに来てくれたのである。

当時、オークスは新生活互助会の名称で「平安閣」は結婚式とパーティ会場だった。社会も七尾市も急速に高齢化に向かっていた。

富山本社から送り込まれた青木さんは「平安閣」の岐路を一任されていたのだと思う。そして若い頃、詩人だった青木さんは私の文章から主婦感覚を感じて、リサーチモニターとしての適性を認めたのである。

彼は鋭い経営感覚を持つ支社長であった。「結婚式には希望に満ちた未来がある。華やかで楽しい。葬儀は厳粛に、生命の終焉を温かく心を込めて見送りたい」と言う彼は、仕事とする冠婚葬祭を通して人生を見ていた。否、死から生命を考え

ていた。私は初対面で文学仲間と同じ匂いを感じた。

幾度かお会いした後、その疑問を直接話した。それがきっかけで、彼は小説家の吉村昭との出会いや詩人の長谷川龍生との交流を、昔の遠い日を手繰り寄せるように語った。

語ることで、若き日、事業に失敗して多くの人に迷惑をかけた戒めとして封印した文学への思いが静かに燃え始めた。そんな時、井上靖と杉森久英が七尾市で講演され、夜、加賀屋で懇親会が開かれた。私はその席へ青木さんを誘った。

井上靖の前で少年のようにはにかむ青木さんを私は今も詩人だと羨望した。封印から青木さんを解き放したのは、井上靖だった。

そしてもう一つ、それは能登島の夕陽の美しさである。日没後の能登島の海上舞台上で詩の朗読、新能、海外の伝統舞踊など上演したイベント「クリエイション21イン能登島」で、彼は日中会場準備に砂

浜を駆け回った。夕陽が沈む頃、開演を待つ観衆から一人離れて、夕陽を眺める青木さんの後ろ姿を見た。背後に漂う凜とした静けさに、彼はきつと書く世界に戻ると漠然と思った。

翌年、彼は本社に転勤した。社名はオークスになり、七尾では介護用品の会社を設立し「平安閣」も葬儀主体へと舵を切り、準備段階に入ったと感じた。彼が本社に戻って一気に書き上げたのが「納棺夫日記」だった。

「おくりびと」で山崎努が演じた社長は、俳優自身の個性と相俟って得たいの知れない魅力があった。お会いしたオークスの奥野博社長も同じ魅力があり、青木さんというユニークな社員が育ったのである。

アカデミー賞を受賞した年、「青木さんの講演会を七尾で」と彼と島を駆け回った大森力ズさんから電話が入った。青木さんは時の人。日程がとれるかどうか。講演会のポスターなどの資金は？現実は無

理だと思った。

可能にされたのは、大森さんから相談された社会福祉法人能登福祉会理事長の岡田成先生である。先生は「医師も生命の終焉に立ち会っています。『おくりびと』の受賞と青木さんの講演で、高齢者福祉をみんなで作りたい」と話され、七尾市社会福祉協議会、同福祉施設協議会などの協力を得て開催された。

高齢者福祉講演会は「地域にふさわしいボランティア活動への提言」と「記念講演・映画『おくりびと』と『納棺夫日記』の二部構成で十二月十四日。会場に六百人を越す人々が詰めかけ、入れないとの苦情も聞いた。机に山積みの中木さんの著書は彼の講演後、あつと言つ間に売れた。

人は誰でも生き方を模索しているのだ。その生命の尊さと愛しさに私は胸を熱くした。



小林良子



事例発表会を開催しました

10月31日に「平成22年度 社会福祉法人能登福祉会 事例発表会」を開催しました。

事例発表会は部署やチームごとに研究のテーマを決め、利用者様、ご家族にご協力を頂いたうえ、よりよい介護の方法についてスタッフが研究した事例を発表する会です。平成14年から開始し、今年で9回目を迎え、当法人のみならず若葉グループ全体でも取り組んでおります。



質問に答えるイーストのスタッフ

今回は2群に分かれ、5つの事例を発表しました。中には半年以上の時間をかけて準備した内容や、新しい取り組みもあり、どのスタッフも力強く発表していました。

出席した職員からも活発に質問が飛び交い、お互いがどん

な工夫や努力をしているのかを理解し、さらなるレベルアップを目指す機会となりました。

また、取り組みの中から新たな課題も見え、今後の改善に繋がりたいと思います。

今回の事例発表会にあたりご協力頂いた利用者様・家族様、どうもありがとうございました。

これからも研鑽を積み、心身両面にわたるケアに努めます。



相談支援、特養2階、ショート、イースト、ウエストのスタッフが取り組みを行いました。法人を代表し、うち2事例を若葉グループ事例発表会で報告しました。

創意工夫の一点 表彰式

10月31日(日)創意工夫の一点の優秀提案の表彰式がありました。

「創意工夫の一点」とは、能登福祉会の職員教育委員会が中心となっている取り組みです。この取り組みは、日常業務の中でこのようにすれば業務改善や能率が上がるというアイデアを



職員及びグループから提案してもらい、そのアイデアを職員が共有することで、より良いケアの向上や、業務改善のための意識向上に繋げることを目的としています。

今年度は21の提案が個人及びグループからあり、その中で優秀提案の金賞・銀賞・銅賞・奨励賞が選ばれ、表彰式を行いました。

職員一人ひとりの意識とアイデアが業務の効率化・改善に少しでも繋がるよう、心がけていきたいと思います。



〇〇ミニ知識!!

シリーズ6

今回のミニ知識は、「冷え性」にまつわる豆知識を調べてみました。

冷え性は特に女性に多いといわれています。それは男性よりも熱を作り出す筋肉が少なく、女性は下腹部の構造が複雑な為、血液が滞りがちになるからです。体の熱は心臓から送り出した血液が循環することによって体温を保つことが出来ます。そこで冷え性おすすめ対策として

① 適度な運動

運動することで足の筋肉が強くなり、熱を生みやすい体になります。足の筋肉は、心臓が送り出した血液を筋肉の収縮によって上半身に送り返すという働きをします。特に足を中心に動かしたり、温めたりすることが効果的です。

② 半身浴

体を外から温めるにはお風呂にゆっくり入るのが効果的です。38度～40度のぬるめのお湯に2、30分下半身をじっくりつけることで、体の中まで温めることが出来ます。下半

身しか入浴していないのに全身ポカポカになります。

③ 温熱食

食品には体を冷やす食べ物(寒涼食)と体を温める食べ物(温熱食)があるといわれています。しかし寒涼食にも健康に欠かせない栄養がたくさん入っている食品ばかりです。そこで寒涼食と温熱食と一緒に食べるようにします。

参考資料：セルフドクターネット・健康豆知識

	寒涼食(体を冷やす食べ物)	温熱食(体を温める食べ物)
野菜	トマト・きゅうり・なす・大根・レタス・セロリ・白菜・蓮根・ごぼう等	人参・ねぎ・にら・南瓜・玉ねぎ・にんにく・しそ・しょうが・ピーマン等
果物	すいか・梨・柿・みかん・メロン・マンゴー・いちご・キウイ等	もも・りんご・あんず・うめ等
豆・穀類	枝豆・豆腐・大麦・小麦	くり・ごま・くるみ・米
肉類	馬肉・鴨肉	牛肉・鶏肉・羊肉
魚介類	カニ・アワビ・カキ・アサリ・シジミ	イワシ・サンマ・サケ・エビ
調味料	白砂糖・食塩・はちみつ	こしょう・黒砂糖・酒・チーズ・味噌



森田千里様 105歳 おめでとうございます!

平成22年9月30日に森田千里さん105歳のお祝いをあっとほーむ若葉にて行いました。七尾市で一番のご長寿ということで、七尾市長も駆けつけてくださり、盛大に行うことが出来ました。森田さんのご家族と武元七尾市長・岡田理事長と一緒に記念撮影をしました。

* 森田さんが生まれた年にあった出来事は？

森田さんが生まれた明治38年は、ポーツマス条約が調印された年です。また、夏目漱石の「吾輩は猫である」の連載が開始された年でもあります。

* 生まれてからどのように過ごされましたか？

現在の早稲田大学の校外生として一年半勉強されたそうです。その後、七尾市内の印刷所に就職し、銀行にも勤めておられたそうです。22歳でご結婚され、旦那様と二人三脚で畑などをしながら生活されていたそうです。旦那様が亡くなってからもお一人で家事や畑仕事をしながら、過ごされていたそうです。

平成19年に能登半島地震があり、今後の家のことを考えてということであっとほーむ若葉に入居されました。

* 長寿の秘訣をお聞きしました。

- ① 毎日、牛乳を飲んでいます。 ② 毎日、夜9時には就寝します。
- ③ 毎日、新聞を読んでいます。 ④ 毎日、自己流の体操をしています。

* 座右の銘は何ですか？

「一生懸命」です。

気丈で、自分を強く持っておられる森田さんです。お話を聞かせていただいている私たち取材担当も身の引き締まる思いがしました。これからも末永くお元気で過ごしてください。



会各施設の
番付
ンタビュー



森下きくの様

ウエストでは森下きくのさんをご紹介します。

* 森下さんの生まれた年にあった出来事は？

森下様は大正7年生まれの92歳でいらっしゃいます。大正7年は、第一次世界大戦の影響で物価が上がり、日本全国で起こった「米騒動」があった年です。

* 生まれてからどのように過ごされましたか？

森下さんが34歳の時にご主人を亡くされ、その後子育てや仕事など大変なご苦労があったそうです。そんなご苦労があったと感じさせない笑顔で、お話をしてくださいました。

* 長寿の秘訣は何ですか？

毎日規則正しい生活をするのと、自己流で体操を週3回ほどすることだそうです。

* 座右の銘は何ですか？

たくさんあるけれども、いまのままで健康で過ごすことが出来ればいいと答えていました。

これからもお元気で過ごしてください。

そして快く取材を承諾して下さり、質問に答えていただき有難うございました。





ご長寿インタビュー

イースト

川口吉雄様

イーストでは川口吉雄さんをご紹介します。

*** 川口さんが生まれた年にあった出来事は？**

川口さんは大正2年に川口家の長男として生まれ、御年97歳です。この年は大正政変があった年です。その翌年には第一次世界大戦が始まりました。

*** 生まれてからどのように過ごされましたか？**

大正12年に関東大震災が起こり、その時川口さんは納屋でむしろを作っていて電灯が大きく揺れたので、びっくりして外へ飛び出した事を今でも覚えているとの事でした。20歳頃、農業の手伝いをする傍ら、税務署の臨時職員として事務の仕事を覚えられ、その後織物工場に入社し営業担当を任されたそうです。30歳頃、第二次世界大戦が始まり、川口さんにも赤紙召集令状が来て、軍隊に一年半従事されたそうです。終戦後は独立し川口織物工場を経営され、多いときで20人の工員を雇っていたとの事でした。また、七尾商工会議所繊維部会長や東湊老人連合会長などの公職を引き受けられ、長年に渡って活躍されていたそうです。



*** 長寿の秘訣は何ですか？**

「散歩をすること」と言われ、ご自分で決めた3つのコースを雨が降ろうが、雪が降ろうが毎日続ける事に意味があると熱意を持って語られていました。

*** 座右の銘は？**

「焦らず・急がず・一生懸命に」を座右の銘とし、今日に至るまで目的に向かって誠心誠意がんばってきたと言われた表情は、自信と誇りに満ち溢れていました。

川口さんいつまでもお元気でいて下さい。ご協力有難うございました。

ご長寿インタビュー

コモド

寺下ちとり様

能登福祉会

長者



ご長寿イ

コモドでは佐々波町にお住まいの寺下ちとりさんをご紹介します。

*** 寺下さんの生まれた年にあった出来事は？**

寺下さんは大正7年12月30日生まれの92歳でいらっしゃいます。この年は第一次世界大戦が終結し、その後全国的にスペイン風邪が大流行した年です。

*** 生まれてからどのように過ごされましたか？**

若い時は、夫が軍隊にいた為、満州や北海道、金沢など色々な場所へ行き、終戦後は、今までしたことがなかった田んぼや畑仕事に苦労したそうです。

七尾へ帰ってきてからは、和裁やお花を習いに行かれていたそうです。

「今はこんないい所の七尾に来ることができて喜んでいます。コモドに行けば色々な行事や、たくさんの人たち



ちがいるのでお話をしたりして楽しみながら過ごしています。」と笑顔でお話してくださいました。

*** 長寿の秘訣は何ですか？**

よく食べ、よく眠り、元気に楽しく過ごすことだそうです。

*** 座右の銘は何ですか？**

「好きなことをして何も考えず楽しく暮らす」

「苦なし厄なし好きなことをして遊ぶ」

だそうです。

これからもお元気で長生きしてくださいね。取材にご協力いただき有難うございました。

出身地

県民ショー



利用者さん編

今回は養護老人ホームに入所されている谷津カツコさんに、インタビューしました。

谷津さんは、「もうなのよ。いやになっちゃう。」と語尾の口癖がとても可愛らしい87歳の方です。

■出身地は？

「私はね、松島で有名なところ



ろ宮城県なの。」と答えられたので、思わず「えっ？ズースー弁じゃないんですね。」と云うと、「そうなの。向こうは語尾にずら〜とか言うのだけど、いろいろと回ったからね。」とおっしゃっていました。

■幼い頃、どんな遊びをしましたか？

「覚えてないわね。家が貧しかったから、すぐに年季奉公へ出されたの。」と語られました。年季奉公中の写真があるとのことを見せてもらいました。谷津さんが赤ちゃんをおんぶしているのですが、10歳にもならない子供の頃の様子です。工場長の子供さんの子守をしながら、働いていたそうです。苦労したという話はなく、「本当に楽しかった。その工場長の娘さんの結婚式にも出たし、今でも年賀状をくれている。旅行もしたよ。」とお話してくださいました。

「覚えてないわね。家が貧しかったから、すぐに年季奉公へ出されたの。」と語られました。年季奉公中の写真があるとのことを見せてもらいました。谷津さんが赤ちゃんをおんぶしているのですが、10歳にもならない子供の頃の様子です。工場長の子供さんの子守をしながら、働いていたそうです。苦労したという話はなく、「本当に楽しかった。その工場長の娘さんの結婚式にも出たし、今でも年賀状をくれている。旅行もしたよ。」とお話してくださいました。



■七尾に来られたきっかけは？

戦争が始まったので、実家のある宮城県へ疎開したが、実家で自分の居場所がなく辛い思いをしたそうです。戦争が終わり、仕事がなく、東京やいろんな土地で働き、暮らしていたそうです。富山県で料理屋の女中をしていた妹から、こちらへ来てほしいとのことで行ってみて、それが縁で七尾市に来られたそうです。

それから50年、七尾で出会った友人がその後の人生に

職員編

大きく影響しているんだなと思いました。楽しくお話を聞かせていただき、有難うございました。

今回は、特別養護老人ホームに勤務されている紺野晴美さんにインタビューしました。関西弁でお話をされる紺野さんは、とても親しみやすい笑顔が素敵な方です。



■出身地は？

滋賀県にある「信楽焼」が有名な所の近くが出身地だそうです。

■出身地の有名な物・グルメは？

滋賀県といえば、なんといってもやっぱり「琵琶湖」です。その琵琶湖で獲れたフナを使った滋賀県の郷土料理「フナ寿司」が有名です。味は独特の匂いがあり、好き嫌いがあるお寿司だそうです。お

茶漬けがおすすめだそうです。あとは伝説の「甲賀忍者」です。甲賀忍者の他にも山を越えた三重県に伊賀忍者というのがいるそうです。

■能登に来られたきっかけは？

21歳の時、石川県出身の方とご結婚され、羽咋市に引っ越してきました。

■能登の方言については？

滋賀県の関西の方言より、石川県の方が硬い話し方をされるなあと感じました。羽咋・中能登・七尾と同じ言葉でも方言に少し違いがあり、それを聞き取るのに苦労しました。

■能登に来てびっくりしたことは？
石川県は雪が多く、通勤が大変なところでした。

■最後に今後の目標をお聞かせください。
「利用者さんとそのご家族が安心できるようなサービスを心がけたいと思いますので、よろしく願います。」と力強く答えて下さいました。

滋賀県の知らないことをたくさん知ることが出来ました。ご協力してくださり有難うございました！

わんこ巡り

第6段

羽咋市にあるひまわりペットクリニックさんにお邪魔しました！



写真左から警備係の満福くん(2歳)、トラ事務長(9歳)、給食係のリリーちゃん(9歳)



トラ事務長

トラ事務長は自動車事故に遭い、ひいた方によって先生のもとへ連れて来られたにゃんこです。瀕死の重傷から奇跡の生還を経て、今では事務長としてクリニックの受付を立派に勤めている看板にゃんこなのです☆



リリーちゃん

リリーはとっても元気いっぱい。クリニックでは給食係のほか、モデルとしてカメラに向かっておすましポーズを決めるお仕事をしています。ちなみに給食係のお仕事とは…お腹いっぱい食べること♪



満福くん

満福くんは生まれながらに全ての足が不自由です。お母さんわんこに育児放棄をされ、クリニックの仲間となりました。この乗り物はお知り合いの方が彼のために作ってくれたそうです。自分の力で動くことはできませんが、とても賢く、「待て」など飼い主さんの指示をきちんと守るおりこうさんです。また、「ワンワン！」と元気な声で吠え、お客さんが来たことを教えてくれます。人懐っこくて、みんなに生きる勇気をくれるわんこです。



取材協力：ひまわりペットクリニック
住所：羽咋市石野町口45-3
TEL：0767-22-5253

健康 リトルリトミック



特別養護老人ホームでは毎月1回、七尾サンライフ児童センターで行われている「リトルリトミック」の行事に参加させていただいています。

児童センターに遊びに来ている未満児さん達とそのお母さん達とお遊戯、歌、体操等、一緒に楽しく過ごしています。

利用者さんは、かわいらしい子供の姿をみて「わ～」「かわいい～」の連発!!子供さんも利用者さんの顔を覚えてくださり、最近では進んで握手してくれたり挨拶をしに来てくれたりしています。10月はミニ運動会に誘っていただき、玉入れやパン食い競争にも参加しました。

リトミックを指導してくださる先生方のピアノの演奏に、私達職員も童心に返って走り回ったり、利用者さんと一緒に歌を歌ったりして、つい時間を忘れてしまいます。

これからも地域の一員として「リトルリトミック」に参加させていただき、子供達とふれあっていきたいと思っています。



※リトミックとは

スイスの音楽教育家・作曲家であったエミール・ジャック＝ダルクローズ氏によって提唱された音楽教育の考え方です。音楽に合わせて体を動かし、「心と身体の調和を促す」「音楽を通してコミュニケーションを楽しむ」などの効果が期待されています。

ボランティアに来て下さりありがとうございました！

＊歌・演奏・踊り・手品＊

- ・扇 寿 会様
- ・伊藤 總子様
- ・御 祓 会様
- ・城山民謡会様
- ・七尾民謡会様
- ・杏 の 会様
- ・矢田町八幡神社獅子舞様
- ・正八幡宮太鼓様
- ・西湊鬼衆太鼓様
- ・モモヤーズ様
- ・能登彌榮人様
- ・せせらぎ会様
- ・東みなと保育園様
- ・小丸山保育園様
- ・大吞保育園様
- ・よつば保育園様
- ・東湊公民館様
- ＊レクリエーション＊
- ・生涯学習インストラクターの会様
- ・七尾市児童センター様

＊裁縫・シーツ交換＊

- ・エナジー若葉様
- ・大谷 美智子様

＊お化粧＊

- ・多幡 千尋様

＊傾聴・見守り＊

- ・田鶴浜高等学校様
- ・姫野 スミ子様
- ・飯田 真理子様

＊囲碁・将棋＊

- ・小谷 勇一郎様

＊整容・整頓＊

- ・福田 恵子様

＊絵手紙・習字＊

- ・山本 由紀子様

「8月1日～10月30日まで」
能登福祉会では、ボランティアを募集しています。ご興味のある方は各施設までお問い合わせください。
(順不同)

ご寄付頂きありがとうございました

福祉の向上に心温まるご芳志をありがとうございました。

- ・高橋 隆信様
- ・大根 富男様
- ・飯田 桂一様
- ・大森 カズ様

「5月1日～10月30日まで」
そのほか、多くの方々からタオルの寄贈を賜りました。



利用者さんの為になるように使用させていただきます。皆様の温かい善意に感謝申し上げます。
(順不同)

貴重なご意見をありがとうございました。

《ご家族より》

家に帰ってきた荷物を見ると、ズボン下とズボンがかばんに入っていないかった。

【改善結果】

職員に入浴脱衣時の確認をし、ご家族にお詫びしました。今後は、入浴介助時の脱衣かごと利用者さんのかばんの位置確認を徹底するよう職員に申し送りました。

《ご家族より》

本人がデイサービスから帰ってきて、その後ご家族が家に帰ってきたら、猛暑の中エアコンも付けないで、本人が服を脱いで玄関に座っていた。その件について電話で問

い合わせると「私は送迎してないので、分からない」との返事だった。また、担当ケアマネージャーが自宅訪問する前に、事前に訪問予約の電話をして欲しい。

【改善結果】

ご家族に対応の不十分さと不愉快な思いをさせてしまったことをお詫びしました。エアコンの操作方法をご家族よりお聞きして職員に周知し、電話の対応マニュアルに基づく研修を行いました。担当ケアマネージャーは何う前に電話連絡することといたしました。



編集後記

気温や風も寒い日が続き、風邪やインフルエンザがまだまだ流行する時期ですが、能登福祉会ではインフルエンザ・風邪の予防として、手洗いがい・マスクの着用の徹底を面会の方にお願ひしております。

今回のわかば通信14号は、能登福祉会の取り組みや、新しいシリーズ企画、利用者さんご紹介などで構成いたしました。皆様に楽しく読んでいただけるよう、新しい企画を取り入れ、より良いわかば通信を発信していきたいと思ひます。

★広報委員★

- 小山 真季
- 今田 京子
- 高平加代子
- 久世 泉
- 表 加代子
- 長井志津夜
- 寺西加奈江
- 小林 早苗
- 川口 洋子